

## 「日本のNDC（国が決定する貢献）（案）」に対する意見

### ○該当箇所

5 ページ 5 行目から 7 行目 4. 計画プロセス a(ii)b 国が決定する貢献の作成に関するベストプラクティス及び経験

### ○意見の概要

該当箇所の記述は「2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けて行く」の目標に対して、実行が弱いと思います。

### ○意見及び理由

非常に考えられた内容と思いますが気になるところです。

「2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減」さらに 50%の削減を成し遂げることへの強い意志が感じられません。「経済と環境の好循環を生み出し、2030 年度の野心的な目標に向けて力強く成長していくため、徹底した省エネルギーや再生可能エネルギーの最大限の導入」の記述からは、限られた範囲内での努力をする。また、「公共部門や地域の脱炭素化など、あらゆる分野で、でき得る限りの取組を進める」では、できる得る限りとなっており、やはり貢献への意志が弱いと感じます。必ずやる、やるからには妥協はしないという強い意志表示を示すべきです。